

グアナファト交流事業報告

2016年10月 平野夏美

2016年10月13日から16日にかけて広島県の友好提携先であるグアナファト州にて行われた交流事業に参加しました。グアナファト州政府（教育省）への表敬訪問から始まり、在レオン日本国総領事館表敬訪問、グアナファト大学の学生たちとのマツダメキシコ工場見学など、さまざまな交流事業を通してグアナファトと広島との繋がりを再認識することができる有意義な研修だったと思います。また、グアナファトの都市は中世のような風景が残る世界遺産都市といわれており、城郭のような美しい町並みに魅了されました。



グアナファト州政府（教育省）表敬訪問

高等教育担当次官であるホセ・アベル・アルテアガ・サンチェスさんからグアナファト州での教育状況についてお話を伺いました。高等教育まで進学するメキシコ人はまだ少なく、家庭の経済的な理由や労働によって義務教育を終えない子どもたちが多く存在するというのを初めて知りました。日本では考えられないことですが、教育の重要さがまだ十分に知られていない地域もあるという現状です。貧困から抜け出すためにまず求められることは教育だと思いますが、教育は一朝一夕には成果を出すことができるものではなく、長い目で見ることが求められます。教育に対する考え方や価値観の違いによって、多くの問題が存在するというのを改めて考えさせられました。

在レオン日本国総領事館訪問

鈴木康久総領事、小林明子領事から、グアナファト州での日本企業の活動状況、在住者の状況、グアナファト州の教育制度等について説明を受けました。メキシコにおける在留邦人（管轄内）は2015年10月の時点で3570人とされており、2011年から2015年の4年間で約2.3倍増加しています。その原因としては自動車産業を中心に日本企業の進出数が4年間で5倍になるなど、急激に

増加したことが挙げられます。2015年10月までにメキシコに進出した企業は452社で、現在はさらに増加しているといわれています。日本企業支援、多様な領事サービス提供の必要性などから平成28年1月に在レオン総領事館が新設されました。また、近年の邦人数の増加に伴い、グアナファト補習授業校、アグアスカリエンテス日本人学校の児童生徒数も急増しており、2013年に設立されたグアナファト補習授業校は設立当初生徒数15名だったのに対し、現在115名の生徒が在籍しています。在留邦人増加に伴い、グアナファト州でも少しずつ変化がおきているようで、メキシコシティに比べると比較的治安が良いと言われているグアナファトですが、近年日本人の犯罪被害が増加していると聞いて少し驚きました。邦人被害は、首都メキシコシティよりも多く、全体の44%を占めているそうです。母体数が増えているので当然かもしれませんが、メキシコの平均収入的に考えると日本人は比較的被害に遭いやすいと思うので、集まってきている犯罪集団もいると考えられます。そのため、特に教育機関などは安全対策の強化が今後の課題になると考えられます。

マツダ工場見学

サラマンカ市にあるマツダ工場をグアナファト大学の学生と見学しました。広大で新しい工場は、工場建設地に茂っていたメスキーテという植物を移植するなど環境保全にも力を入れているそうです。工場の見学をする前にメキシコにおける生産事業や沿革についての説明を受けました。高品質な車の生産を実現するためには人材育成に力を入れる必要があり、人材育成が成功へのカギだそうです。バヒオ地区のメキシコ人は、自動車産業の経験者は多くありませんが、若くて真面目な人材が豊富だそうです。入社初期の基本的な教育・訓練が必要ですが、2016年3月末の時点でメキシコ人従業員は約600人にのぼり、マツダの生産事業に大いに貢献していると言えます。説明を受けた後、実際に工場の中に入って作業の様子を見学させていただきました。私は府中町の出身なので、小学生のころに広島のマツダ工場を見学させていただいたことがあります。メキシコの工場で働く方々も日本と同様に真面目に作業する様子を見ることができました。また、工場内では意外と女性の従業員も多くいたので少し驚きました。

実際に自分の目でメキシコの工場を見て、知ることによって改めて日本との繋がりを再確認することができました。工場見学後はグアナファト大学の学生たちと意見交換を行いました。マツダなどの日本企業がグアナファトに進出したことによって、グアナファトの学生たちも変化を感じているといいます。日本人が増え、日本語学校が設立されるなど、日本をさらに身近に感じるようになったといいます。それによって日本語を勉強する目的が明確になったり、モ

チベーションが上がったりするきっかけになっているという話を聞きました。日本企業がグアナファトの若い人々に大きな影響を与え、日本企業もまた若い人材の力に大いに助けられているということを感じました。



グアナファト補習授業校見学

グアナファト補習授業校の朝礼の時間を少しいただき、平和学習に関する本の寄贈を行いました。子どもたちの平和学習に対する関心が高い一方で、平和に関する教材が不足しているそうです。親の仕事の関係でメキシコに住む日本人の子どもたちが日本の歴史について学習する手助けになればと思いました。また、その後は近日開催される運動会の練習の様子を見学させていただきました。日本の小学校と同じように行進の練習や選手宣誓など、真面目に取り組む様子を見ることができました。また、グアナファト補習授業校運営委員の方にお話を伺い、創設までにグアナファト州から様々なサポートを受けたことや、補習授業校を通して子どもたちに日本人の心を学んでほしいという思いがあるということを知りました。

今回の研修を通して、日本とメキシコの強い結びつきについて再確認することができました。特にグアナファト大学の学生と交流することで、若い世代が日本に強い関心を寄せていることを実感し、今後の広島とグアナファトの関係を支える存在になるだろうと思うと同時に、自分自身もまた2つの都市を結びつけるような役割を担えるような存在になりたいと思えるような大変有意義な研修になりました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝し、この研修を今後の学習の糧にしていきたいと思えます。